

防災おうめ 掲示板用

令和2年12月
No.214

青梅防火防災協会
青梅消防署

大掃除の機会に室内の安全対策をしよう



年末となり自宅の大掃除をしようと思っている方が多いかと思えます。普段は動かさない家具・家電を動かす大掃除の機会に、「住宅用火災警報器の適切な維持管理」、「家具類の転倒・落下・移動防止対策」及び「トラッキング火災の防止」を実施しましょう。

住宅用火災警報器の適切な維持管理

平成22年4月から全ての住宅に住宅用火災警報器（以下「住警器」という。）の設置が義務化され、10年以上が経過しました。

古くなった住警器は電子部品の寿命などにより火災の時に作動しなくなることがあるため、この大掃除の機会に住警器の点検を行うとともに10年を目安に交換しましょう。



家具類の転倒・落下・移動防止対策

家具類の転倒・落下・移動防止対策（以下「家具転対策」という。）とは、地震の揺れで倒れるなどした家具や家電によるケガ等を防ぐために、家具類を固定したり、落下防止をしたりする対策です。

地震から大切な命を守るため、この機会に家具転対策を実施しましょう。



トラッキング火災の防止

●トラッキング現象とは

コンセントに差し込んだプラグの差し刃間に付着した綿埃等が、湿気を帯びて微小なスパークの繰り返しにより差し込みプラグの絶縁が破壊され、やがて差し刃間に電気回路が形成され出火する現象をいいます。

このようなトラッキング現象による火災を防ぐため、差し込みプラグは、使用時以外はコンセントから抜くようにしましょう。長期間差したままのプラグ等は、定期的な点検と乾いた布等で清掃し、もし異常がある場合は、使用するのをやめましょう。



トラッキング火災（再現実験）

年末年始の救急事故をなくそう

救急車の適正利用にご協力を！

●増え続ける救急出場

令和元年中の東京消防庁救急隊の出場件数は **825,929 件** で、救急業務を開始した昭和 11 年以来、過去最多となっています。これは **1日あたり約 2,263 件**、**約 38 秒に 1 回**の出場があったこととなります。救急出場件数の増加は、超高齢社会の伸展により、これからもしばらくの間、増加し続けるものと考えられています。



またこれからの時期は、インフルエンザ等の流行や忘年会・新年会における急性アルコール中毒、積雪や路面凍結による転倒、餅を喉につまらせたことによる窒息事故等があり、こちらも注意が必要です。

「病院へ行く？ 救急車を呼ぶ？ 迷ったら… #7119」

病院？ 救急車？ 迷ったら…

#7119

☎ 電話で相談
東京消防庁救急相談センター

🌐 ネットでガイド
東京版救急受診ガイド

こちらからも **23区** 03-3212-2323
つながります **多摩地区** 042-521-2323

東京消防庁 東京都医師会 東京都福祉保健局

知ろう 使おう #7119

防火・防災に関するお問合せ

- 青梅消防署 青梅市師岡町3-2-5 ☎0428-22-0119
- 日向和田出張所 青梅市日向和田2-309-1 ☎0428-24-0119
- 長淵出張所 青梅市長淵3-203-3 ☎0428-21-0119